

『泉大津に壁画を残そう！』プロジェクト始動開始!!

目的

まちは、自然、歴史、公共施設などあらゆるものが景観を作り出している。

しかし、泉大津は地理的な条件で山岳部がないことから木々が少なく、宅地開発など土地利用の変化から昔なつかしの風景がなくなっている。

また、公共施設のような壁等は、老朽化が激しく暗いイメージや、たくさんの落書きなどが、まちの景観を台無しにしている場合もある。

そこで、景観市民会議「景観人の集い」とあすとホールは、地域の方々と一緒に老朽化した公共施設のような壁等を活用し、みどり豊かな昔なつかしい泉大津の風景を再現するために壁画を描くとともに、地域子ども達にまちの景観を「守る心」、「育てる心」を育む活動を行います。

第1弾



開催日 平成 22 年 10 月 24 日 (日)

場所 泉大津市条南町 (松之浜首根線高架橋下)
条南町自治会付近

壁画は、松が立ち並ぶ海岸で漁を行う様子、江戸時代に測量を行った伊能忠敬の姿、平安時代に紀貫之が大津沖で詠んだ和歌など、かつて美しい海辺であった松之浜の海岸の姿を連想させるものとなっています。また、絵の中心には子どもたちが大阪湾に生息している魚などを描いています。

壁画前



1日目
下地塗り開始!



2日目
チョークにより下書き開始!



3日目
「景観人の集い」司会
いよいよ本番!



ペンキは日本ペイントからの寄贈

デザインを担当されました
西田先生よりコンセプトの説明



完成

